

平成30年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
38	岐阜県立八百津高等学校

学校の教育目標	21世紀の社会を担うのに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成	
今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 地域社会や生徒の実態を認識し、教職員の協力体制を基調として自己評価や学校関係者評価を生かして明るく感動のある教育の実現に努める。	<p>①学校公開週間や学校見学、体験入学などさまざまな機会をとらえ、八百津高校のよさを積極的に発信することで、さらなる地域の信頼や協力を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開週間の活性化 ・学校通信「いま八百津高校では」の発行 ・可茂管内の中学校を訪問し、各校の卒業生の状況と本校の現状を伝える。 <p>②キャリア教育の観点を柱とし、連携型中高一貫教育を活性化させ、全職員が6年間を見通した指導を図るとともに、地域の教育力を生かした学習活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業での長期にわたる就業体験活動や実践的な活動を総合的に体験させ社会的・職業的自立をめざすデュアルシステムの実践 <p>③コミュニティ・スクールとして学校運営協議会との連携を図り、より地域の意見を取り入れ、学校経営に活用する。</p>	<p>①学校公開週間や体験入学の参加者数</p> <p>②「地域連携による活力ある高校づくり推進協議会」による評価の数値</p> <p>③自己評価、学校関係者評価、授業公開週間におけるアンケート調査など、評価の数値</p>
2 基礎的・基本的な学習内容を身につけ、生徒が自ら進んで学習する意欲を高めるよう個別指導の充実を図る。	<p>①基本的生活習慣の確立を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、マナー指導 ・登下校指導（毎月2回）・身だしなみ指導（年6回） <p>②授業の充実と活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価（各学期末） ・1、2学期に各1回、授業公開週間を設け、授業計画や内容・指導方法について、教員間による授業研究を通して改善に努める。 ・生徒の自己実現に向けた学習支援と就職支援を充実する。 ・「ノート学習」を利用して基礎学力の定着を図る。 ・放課後の自主学習支援をさらに充実する。（自習室の整備） ・0限補習の展開（四年制大学や看護医療系短大・専門学校を目指す生徒） ・資格取得（簿記・情報処理（エクセル・ワード）・フォークリフト）の支援（就職を希望する生徒） ・PTAの協力を得た面接指導の実施 <p>④個別のキャリアファイルを活用し、自己実現に向けた個別の努力・足跡を蓄積することで継続的な支援を可能にするとともに、自己肯定感を強化する。</p>	<p>①各月別出欠月報、身だしなみ指導記録簿の推移、学校運営協議会による地域での様子への評価</p> <p>②生徒による授業評価、公開授業週間における参観者評価</p> <p>③中間・期末考査推移、自宅学習調査、進学状況や就職状況</p> <p>④進学状況や就職内定率、地域チャレンジ講座発表会の状況と受け入れ事業所の評価、進学ガイダンス参加者の人数</p>
3 全職員の共通理解を基盤にし、全教育活動を通じて基本的人権を尊重し、差別と偏見のない民主的な態度の育成に努める。	<p>①キャリア教育における人間関係形成力やコミュニケーション能力育成の領域に着目した豊かな人間関係を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LHRの充実 ・部活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 <p>②総合的な学習の時間等における様々な体験活動を通じた地域社会とのつながりを強化するとともに社会の一員としての自覚を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域チャレンジ講座（インターンシップ）の充実 ・保育園、小学校、中学校と連携行事の展開 ・八百津祭り（たんじり）への参加 <p>③ホームルーム活動を充実させ、生徒会活動と学校行事の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MSリーダーズによるボランティア活動の充実 	<p>①6月に実施するi-checkテストの結果から、生徒指導・学級運営に必要なデータの収集</p> <p>②生徒による授業交流評価、交流事業（八百津町クリーン作戦・産業祭など）ボランティア参加数とアンケート結果、町内小中高合同研修会への参加数</p> <p>③生徒によるホームルーム活動・学校行事取組評価、公開授業週間における参観者評価</p>

<p>4 「教職員の働き方改革プラン2018」の意識を職員に定着させ、意欲的に働ける職場環境を整備し、ハラスメントとメンタル不調の察知に努め、早期解決に努める。</p>	<p>① 退勤簿の記録を正確に行い、管理職が勤務時間を正確に把握し、職員への声掛け・指導を定着する。また計画的な休暇の取得の促進を図り職員の健康管理の意識を高める。</p> <p>② ストレスチェックなどにより、メンタル不調の職員の把握に努め、必要があれば専門医との面談につなげる。</p> <p>③ エントリーシート等によりハラスメントを把握し、速やかに面談を実施し、早期解決に結び付ける。また、管理職に気軽に相談できる雰囲気と人間関係を構築する。</p>	<p>① 月毎の退勤簿による80時間を超える職員数</p> <p>② 年休の取得日数</p> <p>③ 高ストレスの判定者数</p> <p>④ ハラスメントに関する相談件数</p>
--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------